



## 計画書（申請書）としてまとめてみる

辻 多聞

8月から11月まで、思いついたアイデアやプロジェクトをまとめ、伝えていく必要性や方法について記してきました。ここまでの部分を一旦まとめてみましょう。山口大学おもしろプロジェクトの申請書A（通常、支援上限金額50万円）に沿って示していきます。lightやテーマ型に関しては、下記内容を200字程度に上手くまとめることになると思ってください。

### ●着目したテーマや課題

このパートには自分たちが明らかにしようとしている（プロジェクトとして実施しようとしている、解決しようとしている）一段上（必要に応じてその上位）の分類結果について記すこととなります。例えば、10月に示した文章を引用すると、『「環境問題」のなかの「地球温暖化問題」に対する「温暖化ガスの排出削減」の一環となる「ゴミの分別回収」』の部分です。この部分を端的な一文とするならば、『（地球温暖化問題を見据えた）温暖化ガスの排出削減を目的とするゴミの分別回収』、という感じでしょうか。この例をもとに話を進めます。自分たちが明らかにしようとしているのは「ゴミの分別回収」に関わるすべてのことではないはずです。というか、何年にもわたってこの問題が取り沙汰され、多くの人が解決しようとしています。たかだか1年程度の学生のプロジェクトで、すべての「ゴミの分別回収」に関わる課題を解決できるはずがないのは想像できることと思います。

### ●想定している達成目標

このパートでは、このようになったらいいな、という「思い（願い）」を記すこととなります。上記のようにテーマは1年間で解決できるものではありませんが、自分たちのプロジェクトがテーマ解決の一助となる、すなわち「社会貢献性」について尋ねている箇所です。上記例を用いるならば、例えば「ゴミの分別回収状況が山口県で100%となる（となったらいいな）」のような感じです。

### ●着目したテーマや課題に対する類似プロジェクトの検索結果

このパートでは着目したテーマに対するレビュー結果を示します。必ずたくさんの方がテーマに付随したプロジェクトや結果を記しています。11月に述べたように「対象区」の状況を、文献名などを用いて記述します。Aさんは〇〇ということ明らかにし（20XX年、××学会誌）、Bさんは〇〇となるであろうことを示唆した（20XX年、××学会誌）、Cさんの研究では〇〇ということまでは明らかとした（20XX年、××学会誌）、という感じです。

### ●類似プロジェクトの問題点や課題

レビュー結果から読み取れる、課題ややり残し箇所をここでは記します。つまり自分たちのプロジェクトにおける新規性、おもしろさを導いた過程部分を記述するということです。11月の例でいうならば自分たちのプロジェクトの「実験区」が、どういう部分なのかということになります。（レビュー結果から）〇〇という課題が残っている、〇〇という部分はまだ明らかにはされていない、〇〇という手法はこれまで用いられたことはない、などといった感じです。

### ●今年度におけるプロジェクト達成目標

上記の新規性やおもしろさを改めて明示して、プロジェクトを実施する意義を方法論などとともに記します。同時に「着目したテーマや課題」に対する貢献度合いを明確に記述します。いわゆるプロジェクトの目的および、そのプロジェクトの社会貢献度合いを記入する欄です。これまでの例である「ゴミの分別回収」ならば、例えば「（これまでになかった）画像分析によるゴミ分類に関する携帯アプリを開発することを目的とする、このアプリが普及することで利用者がゴミを出す際にその分類に関して迷うことはなくなるだろう（アプリを学内にて配布して、その利用状況や満足度も調査する）」のような感じとなります。lightやテーマ型に関しては、この部分が最も重要な箇所です、簡単なレビュー結果などとともにこの箇所を中心に200字程度でまとめる感じになります。

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています**